



き

っかけは「1992年の佐野市国際交流協会設立時に市の幹部職員が積極的に会員になったから」。そう話す蘆原さんは、そのまま会員を続け、市役所退職後に副会長を経験し、2021年5月に会長就任して今年4年目を迎えました。

最大の目標は「多文化共生社会の実現」。そう言い切りました。

現在佐野市には、47カ国の約3200人の人たちが暮らしています。お互いの文化を理解するために、日本語教室や国際交流フェスティバル、ニューイヤーパーティ、国際交流ハイキングなどの多くの事業を開催しているそうです。

また、全ての言語に翻訳することは現実的に難しいので「やさしい日本語」を推進されています。「やさしい日本語」は、1995年の阪神・淡路大震災をきっかけに、外国人にも迅速に正しい情報を伝えるための手段として考案されました。敬語や

誰もが楽しく暮らせるために

難しい言葉は使わない、外国人にも配慮した簡単な日本語です。やさしい日本語は、外国人だけではなく、私たち日本人もコミュニケーションツールとして役に立つのではないでしょう。

そして、言葉と同様に、食文化にはお互いを理解し合うための重要な役割があります。コロナ禍の制限がある中、食文化交流を実施できなかったことが残念でならなかったそうです。

さのまるに同行してロンドンで開催された「ジャパン祭り2014」にも参加されるなど、たくさんの人と会話することが元気の源。話題も豊富で、インタビュアの時間もあったという間に感じました。

最後に、多くの市民や外国人、企業、団体の皆さんの入会を心待ちにしているそうです。

(市民記者 芝口明子)

キラリ話題の人

はぎわら すすむ
蘆原 進 さん
佐野市国際交流協会会長



ようこそ
市長室からこんにちは!

いよいよ夏本番です。暑い日が続きますので、熱中症などに気を付けてお過ごしください。
さて、今月は、現在受験申し込みを受け付けております、職員採用試験について少しお話ししたいと思います。

試験区分での小論文試験廃止といった試験内容の見直しや、市役所職員を身近に感じ、関心を持ってもらうための「佐野市職員ガイド」を作成するなど、人材確保のためにさまざまな取り組みを行っています。

市役所職員の仕事は、市民と直接関わる窓口業務から、縁の下で力持的な業務まで、市民生活のありとあらゆる分野を担当しています。そのため職種もさまざま、市政全般の仕事に携わる「一般事務」の他にも「保育士」「土木」「建築」「電気」「消防」など、毎年必要な人材の確保に努めています。しかし、近年は技術職や資格職の人材確保に苦慮することもあるため、昨年度から例年の試験に加え、早期での採用試験を開始しました。

また、今年度からは、技術職の試験区分(土木・建築・電気)において教養試験の廃止やオンライン面接の導入、全試

AI技術の発展などにより、業務量を減らすことができるところもありますが、市役所の仕事は最終的には「人と人とのつながり」だと思っています。しっかりと素晴らしい人材を確保し、育成することは、多種多様な市役所の仕事において必要不可欠であり、市民生活の向上にも直結してきます。この広報さの14ページに職員採用試験についての情報も記載してあります。
職員採用試験の受験申込期限は、8月16日までです。佐野市職員として「進化する佐野市、選ばれる佐野市」を目指して、私とともに働いてくださる方の申し込みをお待ちしております。

佐野市長
金子 裕



たくさんなでください
本光寺、すぎない地蔵



佐野家歴代の墓所である本光寺（栃本町）境内に、枯木から彫り出されたお地蔵様、「すぎない地蔵」があります。

2年前に落雷で枯れた樹齢150年の杉。根元から伐採の予定でしたが、この杉を使って仏像を作ろうと、住職の高田光寿さんは考えました。そこでチェーンソー彫刻家の栗田広行さんに依頼、昨年立派なお地蔵様が出来上がりました。

名前の由来は杉がなくなった「杉がない」と「頑張り過ぎない」から名付けたそうです。ちなみにこのお地蔵様は「なで仏」です。

住職からも「機会がありましたらお参りいただき、たくさんなでてあげてください」とのことでした。
(市民記者 福田満)



親子で一緒に♪ 学ぶ、作る、食べる。
佐野らーめん食育キット

佐野らーめん予備校が販売している「佐野らーめん食育キット」。新横浜ラーメン博物館と佐野らーめん予備校の各卒業店舗が取り扱いを開始しました。

この食育キットは、今や国民食といえるラーメンの背景にある興味深い歴史や食文化の知恵を、家族で佐野らーめんを作る楽しさや、おいしさの記憶とともに、お子さんが学び、体験できる内容になっています。

地元のラーメン店が使用している素材を揃え、麺は粉からミニ青竹を使い、スープはだしから作ることができます。同梱の「佐野らーめんワークブック」には、作り方の手順やコツが図解入りで分かりやすく説明されていますので、プロが作る本格的な佐野らーめんを、ご家庭の鍋で作ることができます。



地元町会の皆さんに参加いただきました
新合地区土砂災害防災訓練

6月29日(土)新合総合センターにて、山形町会、梅園町会、閑馬上町会、閑馬下町会、下彦間上町会、下彦間下町会を対象に新合地区土砂災害防災訓練が実施されました。

訓練は大雨警報および土砂災害警戒情報が発表され、新合地区に警戒レベル4 避難指示を発令したことを想定し、住民が新合総合センターへ避難することから開始しました。

その後、栃木県安足土木事務所による土砂災害模型を使用した実験と説明や避難所開設訓練、土のう作成訓練、AED 講習、炊き出し訓練などの実践的な訓練が行われました。

災害はいつどこで発生するかわかりません。ハザードマップで自宅と避難所の位置を確認するなど、万一の災害に備えましょう。